

講師謝金・交通費等の  
費用負担はありません

学校安全の実践力向上を目指す研修の主催団体を対象に、講師となる専門家を派遣します！

# 学校安全実践力向上 “出前” 講座

## 支援対象

複数の学校園・団体から教職員等が参加する学校安全研修の主催団体

- \* 都道府県・市町村・学校法人などの学校設置者
- \* 私立学校園などの協議会・連合会
- \* 校長会・教頭会・教科研究会など、教職員を構成員とする任意団体
- \* 周辺（例：中学校区）の学校園や、保護者、地域住民、関係団体の関係者なども参加する研修を主催する学校園

※複数の学校園・団体からの参加があることが要件です。  
単独校園での研修などは対象となりません。



## コース・内容

※A～Cの計3コースから選択できます

<b>A.</b> 「危機管理マニュアル」 見直しワークショップ	<b>【講義とグループ演習】</b> （120分程度） 「学校の『危機管理マニュアル』等の評価・見直しガイドライン」をもとに、学校現場における「危機管理マニュアル」見直しの進め方、学校設置者の支援のあり方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 講師による講義に加え、1班4～6人ずつのグループ討議ができる会場が必要。 （会場が準備できない団体は応相談）</li><li>● 定員：最大40～50名程度。</li></ul>
<b>B.</b> 安全点検フィールドワーク	<b>【安全点検実習】</b> （120～150分程度） 「学校における安全点検要領」に基づき、1つの学校園（協力校園）を会場に、専門家とともに回りながら安全点検を実施して、安全点検の際に重要な視点や点検の進め方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自校園を参加者・専門家による安全点検の会場として提供する協力校園が必要。</li><li>● 定員：20～30名程度。</li></ul>
<b>C.</b> ※都道府県・指定都市は支援対象外 学校安全・危機管理研修	<b>【講義・グループワーク等】</b> （90～120分程度） 講義・グループワーク等を通じ、学校園教職員の危機意識向上を図る。 （具体的内容は、主催団体との協議により決定）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 主催団体の希望するテーマ※に応じて講師となる専門家を選定・派遣。</li><li>● 定員：会場規模、内容等による。</li></ul>

## 申込方法

実施時期は、いずれも**令和7年9月～令和8年1月**を予定しています。  
右下のURL又はQRコードより参加申込用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。  
※複数のコースを希望される場合は、コースごとに複数回お申込みください。

申込期間：令和7年7月7日  
～8月8日

支援予定数：40団体程度

申込多数の場合は抽選等で決定

【問合せ窓口】 学校安全実践力向上“出前”講座 事務局  
(株)社会安全研究所 担当：石水（いしみず）・杉山（すぎやま）  
メール：schoolsafety@e-riss.co.jp TEL：03-3260-9414



## ※Cコース テーマ例

（過去の研修等テーマ例）

- ◆ より実効性のある避難訓練の実施方法
- ◆ SPSの考え方を取り入れた学校安全
- ◆ 学校事務職員と学校安全
- ◆ 地域コミュニティと連携した学校安全の推進
- ◆ 事故・災害事例に学ぶ学校の安全対策
- ◆ 教頭向け「学校安全における管理職の役割」
- ◆ 養護教諭のための実践的なマニュアル
- ◆ 特別支援学校における防災対策
- ◆ 災害時の心のケア

など